

④グリーン（環境）に対する取組み（エコドライブは除く）

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S & N	朝日梱包
新たに取組みした内容（テーマ）	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量に関し、毎週火曜日に1週間の使用量を計測し、ショートインターバルで使用量を把握し削減に繋げる 全店が毎日4回の構内巡回により無駄な電気使用を削減する エアコンは暖房22℃・冷房28℃の設定温度厳守と定期的な換気によりコロナ感染の対策にも十分に留意する 	<ul style="list-style-type: none"> 電気の効率的な使用方法の検討と周知 2012年に100Kw、2013年に40Kwの太陽光発電設備を本社屋上に設置したが、設置から10年が経過し、固定価格買取制度は設備の設置から10年経過で太陽光発電による電力の買取価格は大幅に低下する 今後は太陽光発電設備による発電した電気を自社内で最大限に活用することで可能な限り電気使用量の削減に努め今後も継続的な従業員への周知も行う 	<ul style="list-style-type: none"> ①経理関係書類のペーパーレス化 ②デジタコ記録への一本化を図り、運行管理に関する書類（チャート紙・運転日報）のペーパーレス化 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化 会議資料の紙による出力削減 Web請求書（楽楽明細）の導入 社内申請書類の紙媒体での提出を取りやめ、全社共有フォルダへデータのアップロードに変更 梱包資材の削減 出荷物のサイズに合わせた新たな資材へと変更し、大きすぎる梱包箱の使用や、緩衝材を削減 	<ul style="list-style-type: none"> 作業指示書等のペーパーレス化 現状手書きの作業指示書・案件ごとに印刷している部数表等のデジタル化を進めて行く 以前は僅かな商品移動の際もフォークリフトを使用していたが、ハンドリフト購入により、電気代の削減を図る
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量削減目標 前年使用量10%削減 山陰8店所 5月度 当年実績 37,351kWh 前年実績 41,319kWh 削減実績 3,968kWh 削減比率 9.6% 8店所中6店所目標達成 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員への無駄な電気の使用を抑える意識がかなり浸透したことで、普段から節電、省エネの取組みが社内各所で確認できる。 本社に関してはデマンドストッパーで使用量をコントロールすることで節電効果が表れている また、社内の照明をすべてLED化し外壁の塗料も遮熱効果の高いものを使用していることも電気使用量の削減には大きな効果が現れている 太陽光発電という特性上、夜間の発電が出来ないので、夜間の電気使用量をいかに抑えられるかが今後の課題 残業時間が削減できれば夜間電力使用も削減できるため、2024年問題の施策とも関連つけて、より効率的な方法手段を検討し、電気の使用量を削減することで環境負荷を減少させる 	<ul style="list-style-type: none"> 経理関係請求書のペーパーレス化 第一段階として、用車会社からの請求書チェック・承認決済・保管についてクラウドサービスを受け皿にした電子化を実施済み。次の段階として請求書自体のペーパーレス化を進めていく 当社からのWeb請求書発行サービス導入荷主は全荷主の49%に導入済み 6月より、チャート紙、運転日報の運用を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 【ペーパーレス化】 全社営業会議における資料をデータにて共有し、紙媒体での出力削減 平均30枚×12名=360枚/月 楽楽明細の導入により、紙媒体での出力削減、郵送費用の削減 顧客数157社 楽楽明細利用数103社 申請書類を共有フォルダへのアップロードとした結果、有給等申請書、車両月報等を紙媒体での出力を削減 また、押印を廃止した 月間約100枚程度の削減 【梱包資材の削減】 月間約40,000枚使用していたうち、10%程度がサイズの合わない梱包箱となっていたが、新たなサイズの梱包箱を採用したことで、大きすぎる梱包箱や、スキマを埋めるための緩衝材の使用量の削減へと繋がった 	<ul style="list-style-type: none"> 作業指示書・部数表で月間最低600枚、年間で7,200枚の紙を使用 他資料等を含めると10,000枚以上使用している為、デジタル化を進める事で購入費用の削減・ごみの削減に繋がる ハンドリフトの使用により、僅かではあるが、電気代の削減